

【意見一覧】「静岡市立地適正化計画の改定（案）」に対していただいたご意見と市の考え方

No.	ご意見の内容	静岡市の考え方
1	<p>宮川・水上地区は良いと思う。 東静岡駅周辺地区の拡大はやめてほしい。 東静岡駅の周辺は、住宅街（主にマンション）やオフィス（すでに建設したビル）を活用すべきで、アリーナや建設費の高いものは作らないでほしい。 すでに十分なビルや施設が立っているので、民間の企業に建ててもらえばいい。 税金の無駄遣いなので、アリーナ等や、東静岡駅の屋根付き建築物を建てないでほしい。 静岡市民の血税を、特定の会社のみが利益を得る仕組みを作れるように、大きな予算を立てたいので「静岡市立地適正化計画の改定（案）」の計画を立てた、と疑われるような改定は、必要ない。 必要な施設は、その都度、建物ごとに見直せばいい。 静岡市民は、将来必要なのは、<ul style="list-style-type: none"> ・病院の最新設備や、老人や介護、福祉施設に入りやすくする。私の父の時は、入りたくても順番待ちで入れないので、東静岡駅のような住宅マンションの多い駅付近は福祉を充実すべき。 ・不足しているものを削ってしまい、アリーナ等の建設で100億円以上を無駄遣いしないでほしい。市民サービス（医療・介護・交通など）へ使えるはずの予算が削減される。 （別紙の、理由1、理由2、理由3を参照） 東静岡駅周辺の改定（案）や、アリーナの無駄遣いをやめて、何を作つてほしいのか？ 上下水道の、市内中の水道管と、下水道管の取り換え費用が、今後、膨らんでいくので、そのための予算にして取り替えてほしい。水道管の老朽化は、水道の洗浄施設から家庭への蛇口までの安全な水を届ける、市民の健康を守るために大切な設備だ。 病院や保育園、介護施設などの、生活に密着した施設に対しても使ってほしい。少子化でスポーツゾーン指定よりも、スポーツ人口が減っていることに対策すべきだ。将来の年金が下がる一方なので、老人の負担増の国民健康保険の引き下げや、子供の教育や家庭の支援や介護施設へ使ってほしい。 図書館の建設は、県立図書館にヒビは入ってきたので、建て直しのための一時保管と緊急の対策として利用するのはいい。図書館は3階～5階までの建設でも十分だと思う。低予算でやってほしい。 もっと生活に密着した、静岡市民が必要としているサービスや支援に、税金を使ってほしい。 (別紙の、理由1、理由2、理由3) 理由1、 東静岡駅は、住むにも遊ぶにも不便である。 ここ数年間で、まったく利用していない。一年で一回行けばいいほう。 まず、この周辺にスーパー や ドラッグストアがない。周辺の住民が便利に感じるような施設が必要だろう。 東静岡駅から発するショッピング街がないがマーケットがあるので、特に不便はない。 スポーツ施設は、草薙運動場や学校設備があるので、必要ない。スポーツ施設は立てなくていい。お金のあまりかからないローラースケート場はいい。このような最低限の施設を置いておかないと、無駄な施設を作ろうと計画するからだ。もっと低予算の広場や公園にして、若者が遊べればより良い。 「スポーツ・音楽ゾーン」は、スポーツ施設やアリーナを建てやすくする可能性があるので、辞めてほしい。施設が必要かどうかはその都度、建築物に対して検討すべきで、振興地域の指定は、税金の無駄遣いを促進する可能性があるので、努力の目安程度にとどめるよう配慮してほしい。 理由2、 バスの便が悪くて、駅周辺へ行く機会はない。 周辺の住民以外の静岡市民が、スマーズに東静岡駅に行く方法はない。 自動車は無料の駐車場もなく、東静岡駅に行くメリットがない。 理由3、 電車の便が悪い。 例、川合から東静岡駅に行く場合、「静岡駅」のほうが近い。東静岡駅は遠い。 自転車 → 20分 バス停 → (静岡駅) 25分 → (東静岡駅) 13分・待ち時間込み。合計38分。 静鉄の電車の場合、長沼までの各駅への不便さを感じるか？と、東静岡駅から長沼駅へ乗り換え 静岡駅から長沼まで7分 草薙駅から長沼まで6分 ～～～ 東静岡駅から長沼駅への建築物の必要性を感じない 静岡駅からアクセスしたほうが便利だ。静岡鉄道の駅周辺は、県外の住民や遠目の住民に対しても、静岡駅から行くほうが便利だ。 反対側も、草薙駅・清水駅からアクセスしたほうが便利だ。長沼駅からアクセスしたいのは周辺の住民で、東静岡駅から静鉄は歩道で徒歩が効率的だ。駅や駅周辺の増設は必要ない。この周辺の道路は、まったく混んでない。調査して市民に報告してほしい。</p> <p>貴重なご意見をいただきありがとうございます。 アリーナは、いわゆるハコモノとは異なり、投資を上回る経済効果や所得誘発効果が期待できる施設です。整備費は市が負担しますが、維持管理・運営では市が費用を負担せず、将来にわたって経済効果、社会的効果を生み出す施設であり、若者の流出が著しい静岡市にとって、未来の子供たちのために必要な施設であると考えます。 なお、今回の集約化拠点形成区域（都市機能誘導区域）東静岡駅周辺地区の区域を拡大する改定（案）は、「東静岡地区まちづくり基本構想」において、JR東静岡駅を中心とした、静岡鉄道長沼駅を含む広がりのあるエリアのまちづくりが掲げられたことを契機とするものです。 現行の静岡市立地適正化計画では、東静岡駅周辺地区において「教育・文化・スポーツ・国際交流、情報発信等の機能」、「商業・業務機能」を強化するとともに、「子育て環境等、周辺居住者の生活利便性を充実」させることを拠点形成の方向性として位置付けていますが、その位置付けに変更はありません。 既に立地している大規模ホール（グランシップ）や商業施設などの駅周辺の既存ストックを活かしつつ、新たな交通システムの導入等により、県立総合病院や済生会病院等の医療・福祉施設や、高校・大学等の教育施設、宮川・水上地区の産業・商業施設との連携に取り組み、日常生活の利便性向上を目指します。 このように、医療・福祉・教育・商業等のサービスの充実を図ることで、「東静岡地区まちづくり基本構想」の将来像に掲げる「快適で安心できる暮らし」と「文化・スポーツによる感動体験」が両立するまちの推進に取り組んでまいります。</p>	